

序．計画の概要

1) 計画の目的

金沢都市圏では、平成9年11月に策定された石川県第3次渋滞対策プログラムに基づき、交通容量拡大施策を中心に交通円滑化に向けた取り組みが進められてきており、また、近年ではパーク＆ライドなどの交通需要調整施策も実施されている。

このような現状を踏まえ、ここに策定する金沢都市圏交通円滑化総合計画（以下「本計画」という）は、従来の容量拡大施策に加え、マルチモーダル施策、交通需要マネジメント施策（TDM※施策）等のソフト施策と組み合わせる事により、安全で円滑な交通を確保するための総合的かつ効果的な施策を構築し、その実施により都市圏における渋滞を緩和し、もって経済活動の効率化、都市圏の活力向上、交通安全の向上、交通に起因する環境負荷の低減等に努め、豊かで暮らしよい地域の実現に資することを目的としている。

また、平成13年4月には、金沢市により新金沢市総合交通計画が策定され、2010年までの交通政策の方向性や理念及び具体施策がまとめられており、本計画は新金沢市総合交通計画の交通円滑化分野に関する実施プログラムの役割も担うものである。

※TDM：Transportation Demand Management の略

2) 計画対象地域

本計画は、金沢市、松任市、野々市町、津幡町、内灘町、鶴来町の2市4町で構成される金沢都市圏を対象とする。この地域は、通勤や通学など金沢市との結びつきが強く、土地利用や交通網の一体性が強い地域である。

基本データ	面積(k㎡)	人口(人)
金沢市	467.8	456,400
松任市	59.9	64,902
野々市町	13.6	44,929
津幡町	110.4	33,203
内灘町	20.4	26,625
鶴来町	35.6	21,517
金沢都市圏計	707.7	647,576



図序－1 計画対象範囲

3) 施策の体系

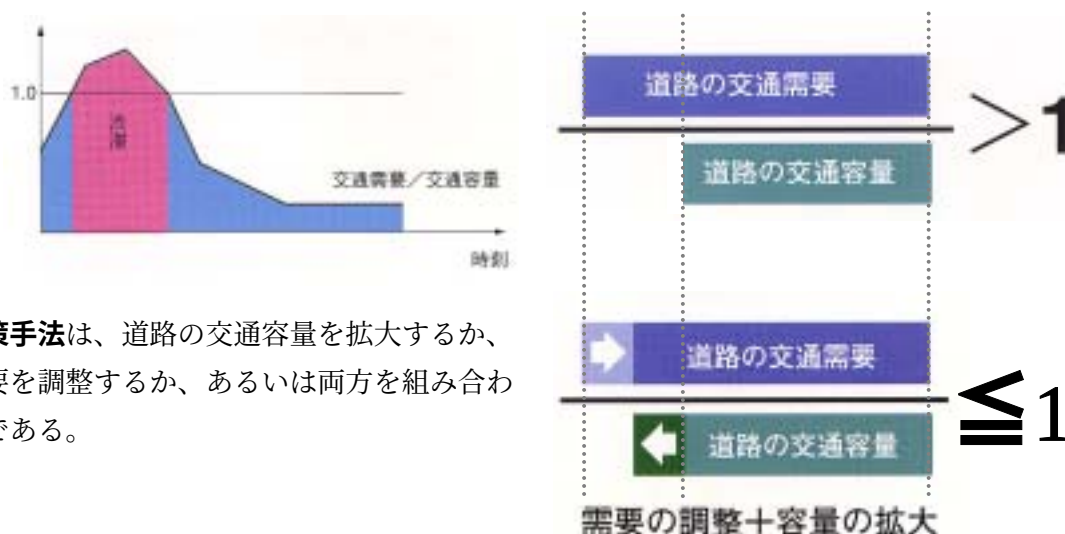
従来から実施している交通基盤の重点的整備（ハード施策）に加え、TDM施策やマルチモーダル施策（ソフト施策）を合わせて講ずることにより、より一層、効率的・効果的な交通環境の実現を目指すものとする。

表序－1 交通円滑化施策の体系

交通容量拡大策 道路ネットワークの整備やボトルネックの解消等により道路の容量を拡大する施策	- 道路ネットワークの整備（バイパス、環状道路等） - 幅の確保（多車線化、幅員確保等） - ボトルネック解消策（交差点・踏切の立体化、交差点改良、信号制御の高度化等） - タクシーベイ、荷捌き施設の整備 - 交通管制システムの充実・高度化 など
交通需要マネジメント施策 自動車利用者の交通行動を変更し、都市または都市圏レベルの交通渋滞を緩和する手法	- 相乗り（カープール、バンプール、シャトルバス） - フレックスタイム、時差出勤、時差通学 - 交通マネジメント協会（TMA）などの奨励 - 相乗り車（HOV）優先レーンの整備 - 駐車マネジメント など
マルチモーダル施策 複数の交通機関の連携を促進し、都市圏全体の交通を円滑にする手法	- バスの走行性の向上（バス路線の道路整備、バスレーンのカラー舗装化、バス停のハイグレード化等） - パーク＆ライドの推進（パーク＆ライド駐車場等の整備等） - バス専用・優先レーン、PTPS（公共車両優先システム）等の整備 - 共同集配の実施 - 道路交通情報・駐車場情報の提供 - 自転車利用の促進 - 自転車レーン、自転車駐輪場整備 など
	- 空港、港湾、駅等の交通拠点へのアクセス強化 - 路線バス、鉄道と高速バスの結節強化 - 歩行空間のバリアフリー整備 - 交通結節点（駅前広場、バスターミナル）の整備 など

：現在、金沢都市圏で取組み中の施策

渋滞は、ある時間帯で道路の交通需要が道路の交通容量を上回ることから生じる現象である。



渋滞対策手法は、道路の交通容量を拡大するか、交通需要を調整するか、あるいは両方を組み合わせるかである。

図序－2 円滑化計画による渋滞対策の考え方

4) 計画条件

① 対象とする交通

- ・ 本計画は基本的に無雪期の交通を対象とする。
- ・ 金沢都市圏は積雪地域に位置し、降積雪時の円滑な交通の確保は重要な課題であるが、その特性は多様である。そのため、本計画では降積雪時の交通改善に関する具体的な目標は設定しないが、降積雪時の課題に対応すべく、事業計画には盛り込んでいる。

② 関連計画

金沢都市圏関連の主な交通計画は以下の通りであり、本計画は各計画との連携及び整合を図っている。

表序－2 金沢都市圏における主な交通関連計画

計画・施策・調査名	主体	策定・調査年度	内容・施策例
石川県第3次 渋滞対策プログラム	石川県道路交通 渋滞対策協議会	平成9年11月 (計画年次：平成14年)	渋滞ポイントにおける混雑解消を目的とし、主に交通容量拡大施策を推進 ・ バイパスの整備 ・ 環状道路の整備 ・ 都市計画道路の整備 ・ 交差点改良 ・ パーク＆ライドの推進
金沢都市圏パーソン トリップ調査	金沢都市圏総合 交通計画協議会	平成10年3月 (目標年次：平成32年)	金沢都市圏の将来における都市交通体系の提案 ・ 将来需要に基づく整備目標道路網及びマスタープラン道路網の提案 ・ 将来公共交通網の提案 ・ 都心地区交通対策の提案 ・ 交通需要マネジメントの提案
金沢オムニバス タウン計画	金沢市	平成10年3月 (目標年次：平成14年度)	オムニバスタウン計画の実施推進 ・ コミュニティバスの導入 ・ ノンステップバスの導入 ・ パーク＆ライドの推進 ・ 多様なチケットシステムの導入 ・ バスレーンの延伸
新金沢市 総合交通計画	金沢市	平成13年4月 (目標年次：平成22年)	金沢市の交通施策の総合的な検討と方向性の提示 ・ 環境負荷の小さな持続可能な都市を形成する交通体系の推進 ・ ひとにやさしく安全、安心な交通体系の推進 ・ まちの魅力を高め活気づける交通体系の推進 ・ 交流を促進する円滑で快適な交通体系の推進

5) 計画期間

- ・ 本計画は平成14年度から平成18年度までの5年間とする。